

黄金世代

変額個人年金保険(07)終身D3型



特別勘定（世界分散型40AF（02）/世界分散型20AF（02））

四半期運用実績レポート

2011年7月～2011年9月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。母体であるステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート(2011年7月~2011年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2011年7月~2011年9月]

【日本株式市場】

国内株式市場は、欧州債務問題の深刻化と世界景気の減速懸念から、世界的な株安の展開となりました。7月は、世界的な株高を受けて上昇していましたが、その後は欧州債務問題や米債務上限問題と、それに伴う円高の進行が嫌気され、下落に転じました。8月には、欧州財務問題や世界景気減速への懸念が高まり、世界的に株価が急落する展開となりました。9月に入っても投資家のリスク回避姿勢は強く、世界景気の先行きや欧州債務問題をにらみながら神経質な動きが続きました。米連邦準備理事会(FRB)が弱い景気見通しを発表すると一段と下落し、日本株は2年半ぶりの安値水準まで下げました。しかし期末にかけては、欧州債務問題の解決への取り組みが進むとの期待が広がり、下げ幅を縮小させて終わりました。業種別では、円高メリットが大きく業績の回復トレンドが著しい「パルプ・紙」(前四半期比+10.73%)が最も上昇した一方、世界景気減速やコモディティ価格の下落による市況悪化により「海運業」(前四半期比▲30.35%)の下落が最大となりました。

【外国株式市場】

海外株式市場は、欧州の金融不安に対して、抜本的な解決策が示されないことや域内での拡大が懸念されたことで期を通して軟調に推移しました。加えて、欧米での景気減速が世界的な経済成長の鈍化へと波及するとの懸念から、リスク回避姿勢が強まりました。米国株式市場は、堅調な企業業績やギリシャ問題の一時的な進展、金融当局による追加の金融緩和期待などが、市場の支えとなる場面もありました。しかし、欧州の金融不安への不透明感に加えて、雇用などの米マクロ経済指標が景気減速を示唆したことや、連邦債務の上限引き上げ問題での混乱、米国債の格下げなどを嫌気して下落しました。欧州株式市場は、ギリシャからイタリアやスペインなどに金融不安が拡大するとの懸念や、高止まりを続けるインフレ率、域内マクロ経済指標の悪化などを材料に下落基調を強めました。特にギリシャへの支援負担が重く押し掛かるとの観測からドイツやフランスといった経済規模の大きなユーロ圏入国の下落幅が大きくなりました。アジア市場は、欧米が抱える問題に大きく左右される一方で、内需が堅調な国や相対的に高い成長率を維持する中国から恩恵を受ける国を中心に底堅く推移して始まりました。しかし、中盤以降は新興国を含めた世界的な景気減速懸念が高まる中、リスク回避の動きが強まり、景気動向に敏感な市場を中心に大きく下落しました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、4-6月期の日銀短観の軟調な結果や、事前予想を上回ったものの引き続きマイナスとなった4-6月期実質GDP成長率など、国内経済指標が弱含みの結果となったことが債券の買いにつながりました。また、国外からの影響としては、欧州周辺国の財政問題に対する懸念がくすぶりつづけたことを背景にリスク回避傾向が高まったことが、債券の買い材料となりました。日銀は当四半期を通じて政策金利を据え置きしました。日本10年国債利回りは前期末から▲0.108%低下の1.032%となりました。無担保コール翌日物は前期末から+0.008%上昇の0.075%となりました。

【外国債券市場】

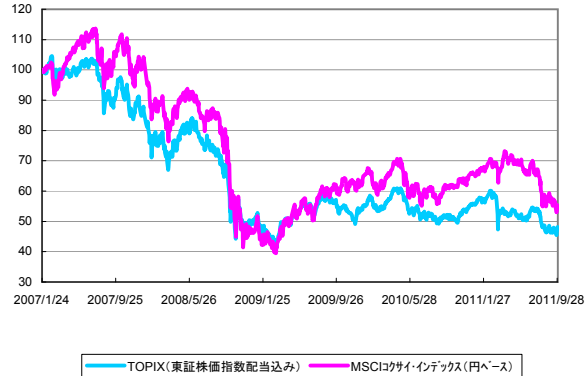
米国債券市場は、期中中、米格付会社が米国債を1段階引き下げましたが、雇用統計をはじめとする経済指標が軟調となる中、米連邦公開市場委員会(FOMC)が低金利政策の長期間にわたる維持や、長期債の保有比率を高めるツイスト・オペの実施を示唆したことが長期債を中心とした債券の買い材料となりました。米国10年債利回りは前期末から▲1.245%低下の1.915%となりました。欧州市場は、欧州中央銀行(ECB)が7月上旬に政策金利を0.25%引き上げましたが、ギリシャをはじめとする欧州周辺国の債務問題への明確な打開策が見出されない中、米格付会社によるポルトガルおよびアイルランド国債の投資不適格級への格下げを受けて、買への逃避先として独債が買い進まれました。英国市場は、4-6月期GDP成長率の上昇が鈍化するなど軟調な経済指標を背景に債券が強含みとなりました。独10年債利回りは前期末から▲1.138%低下の1.887%、英10年債利回りは▲0.950%低下の2.430%となりました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、雇用統計をはじめとする軟調な米経済指標が相次いだことに加え、前半の米債債務上限引き上げ交渉の難航や米格付会社による米国債の格下げがドル売り材料につながり、対円では一時1ドル=75円台の戦後最高値をつけました。円は対米ドルで前期末から4円08銭(5.05%)円高ドル安の1ドル=76円65銭となりました。ユーロ/円相場は、ECBが7月上旬に政策金利の引上げを実施しましたが、ギリシャをはじめとする欧州周辺国の債務問題への不透明感や、米格付会社による欧州周辺国国債の格下げを背景に、ユーロが弱含みとなりました。円は対ユーロで前期末から12円73銭(10.90%)円高ユーロ安の1ユーロ=104円11銭となりました。

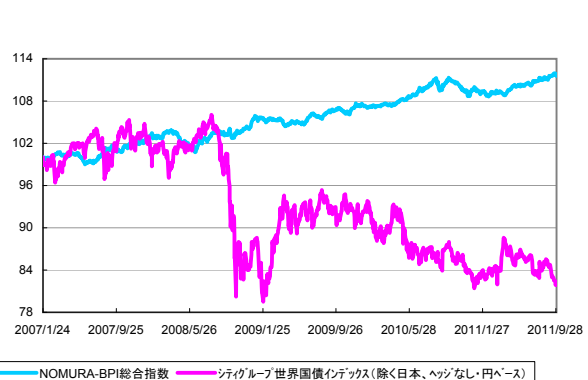
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。

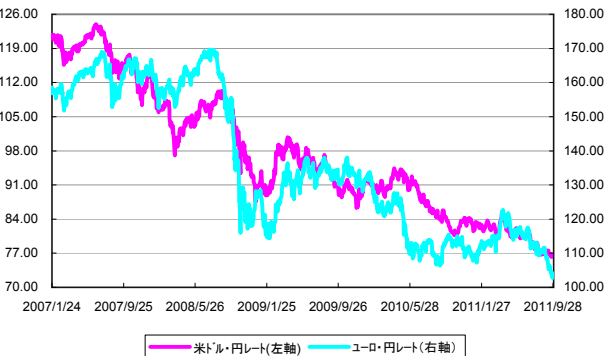


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2007年1月24日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2011年7月~2011年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

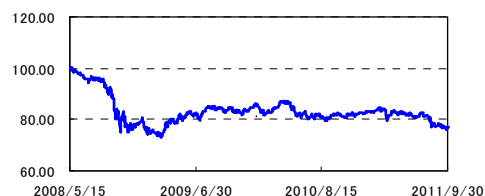
特別勘定の運用状況 [2011年9月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型40AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式20% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券30% (運用の指標: シティグループ世界国債 インデックス(除く日本、円ベース)) * を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の50% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。
特別勘定名	
世界分散型20AF(O2)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本株式10% (運用の指標: 東証株価指数配当込み)、日本債券40% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、外国株式10% (運用の指標: MSCIコクサイ指数(円ベース))、外国債券40% (運用の指標: シティグループ世界国債 インデックス(除く日本、円ベース)) * を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の100%について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス20VA <適格機関投資家限定>	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。
特別勘定名	

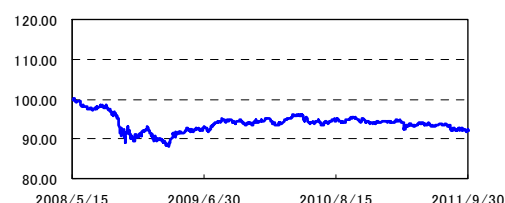
■特別勘定のユニット・プライスの推移

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

世界分散型40AF(O2)



世界分散型20AF(O2)



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年5月15日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2011年9月末	77.00 過去1ヶ月 ▲1.70%
2011年8月末	78.34 過去3ヶ月 ▲5.97%
2011年7月末	80.66 過去6ヶ月 ▲7.17%
2011年6月末	81.89 過去1年 ▲5.96%
2011年5月末	82.23 過去3年 ▲13.24%
2011年4月末	83.20 設定来 ▲23.00%

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)
2011年9月末	92.27 過去1ヶ月 ▲0.46%
2011年8月末	92.70 過去3ヶ月 ▲1.35%
2011年7月末	93.21 過去6ヶ月 ▲1.54%
2011年6月末	93.54 過去1年 ▲3.00%
2011年5月末	93.83 過去3年 ▲3.18%
2011年4月末	93.80 設定来 ▲7.73%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。

・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
其他有価証券	15,428,593	99.3
現預金・その他	104,427	0.7
合計	15,533,020	100.0

項目	世界分散型20AF(O2)	
	金額(千円)	比率(%)
其他有価証券	5,940,501	99.3
現預金・その他	41,153	0.7
合計	5,981,654	100.0

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「其他有価証券」の項目に含まれています。

・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型

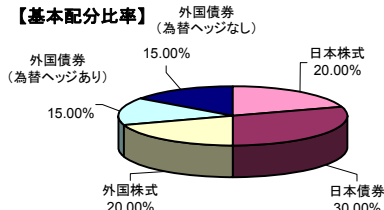
特別勘定の四半期運用実績レポート(2011年7月~2011年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2011年9月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

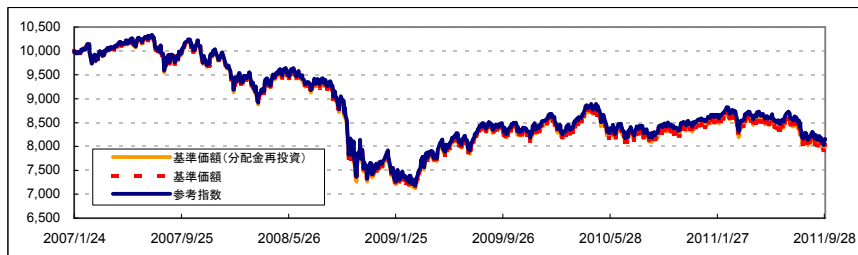
当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス40VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)20%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2011年9月30日	前月末	前月末比
基準価額	8,037 円	8,160 円	▲ 123 円
純資産総額(百万円)	43,728	44,627	▲ 898

	基準価額	日付
設定来高値	10,307 円	2007年7月20日
設定来安値	7,124 円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	20.00%	19.81%
日本債券	30.00%	30.86%
外国株式	20.00%	18.58%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	14.87%
外国債券(為替ヘッジなし)	15.00%	15.22%
短期金融資産	0.00%	0.66%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲1.51%	▲5.40%	▲6.02%	▲3.56%	▲6.81%	▲19.63%
参考指数	▲1.53%	▲5.44%	▲5.98%	▲3.39%	▲6.24%	▲18.47%
差	0.02%	0.04%	▲0.04%	▲0.17%	▲0.57%	▲1.16%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	50.66%
アメリカ	22.45%
イギリス	4.41%
フランス	3.87%
ドイツ	3.62%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	65.53%
米ドル	16.44%
ユーロ	8.86%
ポンド	3.21%
加ドル	1.49%

* 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(07)終身D3型

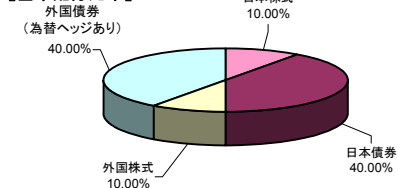
特別勘定の四半期運用実績レポート(2011年7月~2011年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2011年9月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



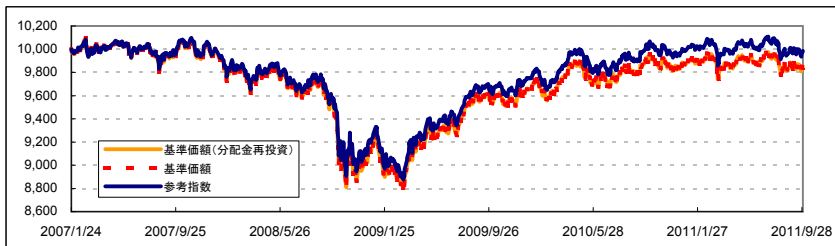
当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*
 *当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数40%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)10%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2011年9月30日	前月末	前月末比
基準価額	9,852 円	9,877 円	▲ 25 円
純資産総額(百万円)	12,284	12,416	▲ 132

	基準価額	日付
設定来高値	10,095 円	2007年2月27日
設定来安値	8,804 円	2009年3月10日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	9.69%
日本債券	40.00%	40.15%
外国株式	10.00%	9.10%
外国債券(為替ヘッジあり)	40.00%	39.35%
短期金融資産	0.00%	1.72%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲0.25%	▲0.72%	▲0.27%	▲0.49%	4.52%	▲1.47%
参考指数	▲0.25%	▲0.71%	▲0.21%	▲0.29%	5.21%	▲0.17%
差	▲0.00%	▲0.01%	▲0.07%	▲0.21%	▲0.69%	▲1.30%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	49.84%
アメリカ	20.87%
フランス	4.39%
ドイツ	4.17%
イギリス	4.15%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	88.73%
米ドル	5.13%
ユーロ	1.19%
ポンド	1.03%
加ドル	0.52%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07)終身D3型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2011年7月~2011年9月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型」のリスク及び諸費用についてを8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

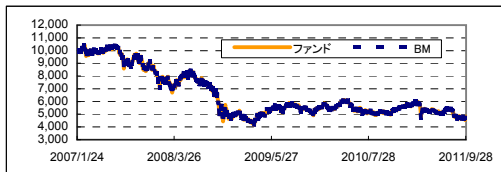
各マザーファンドの運用状況 [2011年9月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : TOPIX(東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 104,584 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲0.26%	▲9.43%	▲11.40%	▲5.97%	▲25.53%	▲51.88%
ベンチマーク	▲0.25%	▲9.44%	▲11.46%	▲6.06%	▲25.56%	▲51.97%
差	▲0.01%	0.02%	0.06%	0.08%	0.03%	0.08%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,663 銘柄

順位	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.28%	3.37%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.51%	2.58%
3	キヤノン	電気機器	2.10%	2.15%
4	本田技研工業	輸送用機器	1.84%	1.89%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.58%	1.62%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.44%	1.47%
7	武田薬品工業	医薬品	1.37%	1.41%
8	日本電信電話	情報・通信業	1.31%	1.35%
9	三菱商事	卸売業	1.17%	1.19%
10	エヌ・ティ・ティ・コム	情報・通信業	1.10%	1.12%
合計			17.70%	18.14%

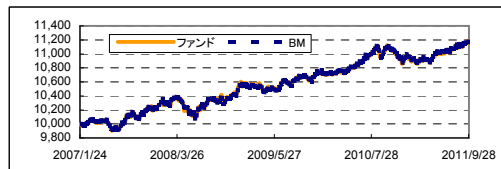
組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	12.98%	13.30%	▲0.32%
2	銀行業	9.43%	9.67%	▲0.24%
3	輸送用機器	9.30%	9.53%	▲0.23%
4	情報・通信業	6.12%	6.27%	▲0.15%
5	化学	5.95%	6.10%	▲0.15%
6	卸売業	5.13%	5.26%	▲0.13%
7	医薬品	5.12%	5.25%	▲0.13%
8	機械	4.72%	4.84%	▲0.12%
9	小売業	4.19%	4.30%	▲0.11%
10	陸運業	4.03%	4.14%	▲0.10%
合計		66.97%	68.65%	▲1.68%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 180,856 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.39%	1.05%	2.14%	0.60%	7.77%	11.50%
ベンチマーク	0.37%	1.05%	2.15%	0.62%	7.96%	11.58%
差	0.02%	0.00%	▲0.01%	▲0.01%	▲0.18%	▲0.08%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 932 銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第273回利付国債	1.500%	2015年9月20日	1.16%	0.59%
2	第264回利付国債	1.500%	2014年9月20日	1.15%	0.55%
3	第305回利付国債	1.300%	2019年12月20日	1.04%	1.04%
4	第267回利付国債	1.300%	2014年12月20日	1.03%	0.28%
5	第90回利付国債	0.300%	2015年6月20日	1.00%	0.39%
6	第304回利付国債	1.300%	2019年9月20日	0.98%	0.35%
7	第311回利付国債	0.800%	2020年9月20日	0.93%	0.32%
8	第83回利付国債	0.900%	2014年6月20日	0.90%	0.32%
9	第71回利付国債	1.300%	2013年3月20日	0.90%	0.30%
10	第286回利付国債	1.800%	2017年6月20日	0.90%	0.61%
合計				9.99%	4.73%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	74.10%	75.76%	▲1.66%
地方債	7.06%	7.33%	▲0.27%
政府保証債	4.29%	4.49%	▲0.20%
金融債	1.49%	1.44%	0.05%
事業債	9.86%	8.88%	0.98%
円建外債	0.33%	0.74%	▲0.41%
MBS債	1.02%	1.36%	▲0.34%
コール・その他	1.84%	0.00%	1.84%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.76%	0.77%	▲0.01%
平均クーポン	1.52%	1.46%	0.06%
平均残存期間	8.01	7.83	0.18
修正デュレーション	7.03	6.97	0.06

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2011年7月~2011年9月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

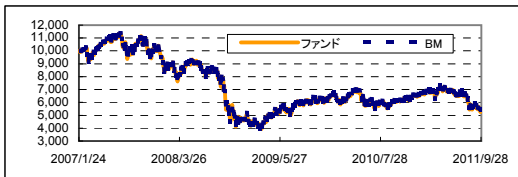
各マザーファンドの運用状況 [2011年9月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 118,351 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲6.10%	▲18.87%	▲21.87%	▲10.70%	▲21.28%	▲45.54%
ベンチマーク	▲6.12%	▲18.91%	▲21.84%	▲10.66%	▲20.95%	▲45.12%
差	0.02%	0.05%	▲0.04%	▲0.04%	▲0.33%	▲0.42%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,316 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.85%	1.88%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.84%	1.86%
3	IBM CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.10%	1.12%
4	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.99%	1.00%
5	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.98%	1.00%
6	CHEVRON CORPORATION	アメリカ	エネルギー	0.97%	0.98%
7	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.90%	0.92%
8	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.89%	0.90%
9	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.87%	0.88%
10	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.86%	0.87%
合計				11.25%	11.41%

・ベンチマーク (BM) の比率は2011年9月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	エネルギー	11.69%	11.86%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.97%	8.09%
3	銀行	7.36%	7.46%
4	素材	7.18%	7.31%
5	資本財	7.07%	7.21%
6	食品・飲料・タバコ	7.04%	7.14%
7	ソフトウェア・サービス	5.90%	6.00%
8	電気通信サービス	4.49%	4.56%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.45%	4.51%
10	各種金融	4.40%	4.48%
合計		67.55%	68.62%

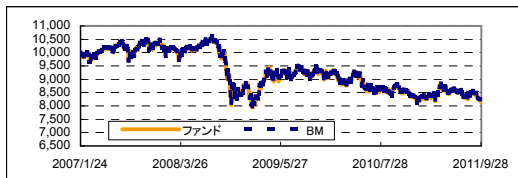
組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	55.85%	56.71%
2	イギリス	10.59%	10.75%
3	カナダ	5.67%	5.76%
4	フランス	4.39%	4.45%
5	スイス	4.14%	4.19%
6	オーストラリア	4.00%	4.06%
7	ドイツ	3.74%	3.84%
8	スペイン	1.66%	1.69%
9	スウェーデン	1.39%	1.41%
10	香港	1.26%	1.32%
合計		92.69%	94.19%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 231,629 百万円



・2007年1月24日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲3.03%	▲4.03%	▲3.98%	▲5.98%	▲15.87%	▲17.91%
ベンチマーク	▲3.05%	▲4.05%	▲3.99%	▲5.91%	▲15.75%	▲17.63%
差	0.02%	0.02%	0.01%	▲0.06%	▲0.12%	▲0.28%

・設定以来の騰落率は、2007年1月24日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 426 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年11月15日	1.09%	0.23%
2	アメリカ国債	米ドル	0.375%	2013年6月30日	0.89%	0.27%
3	アメリカ国債	米ドル	1.125%	2012年12月15日	0.86%	0.28%
4	アメリカ国債	米ドル	4.500%	2015年11月15日	0.84%	0.18%
5	アメリカ国債	米ドル	1.500%	2013年12月31日	0.84%	0.19%
6	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2015年8月15日	0.79%	0.22%
7	アメリカ国債	米ドル	4.000%	2012年11月15日	0.77%	0.14%
8	アメリカ国債	米ドル	4.500%	2016年2月15日	0.76%	0.17%
9	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年8月15日	0.75%	0.22%
10	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2015年6月30日	0.74%	0.19%
合計					8.33%	2.10%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
・ベンチマーク (BM) の比率は2011年9月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	40.13%	40.13%
2	フランス	10.15%	10.17%
3	ドイツ	9.73%	9.79%
4	イタリア	9.08%	9.10%
5	イギリス	8.11%	8.12%
6	スペイン	4.26%	4.33%
7	カナダ	2.89%	2.93%
8	ベルギー	2.73%	2.77%
9	オランダ	2.60%	2.59%
10	オーストラリア	1.78%	1.77%
合計		91.46%	91.72%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	2.22%	2.21%	0.00%
平均クーポン	4.12%	3.57%	0.55%
平均残存期間	8.22	8.12	0.09
修正デュレーション	6.23	6.22	0.01

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
・上記の属性は2011年9月29日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなる投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0%
		特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および保証金額付特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.55%
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.2625%程度 (税抜0.25%程度)*
		積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
		特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

* 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することになります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%*
		年金支払日に責任準備金から控除します。

* 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)終身D3型「黄金世代」は現在販売していません。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/